

出羽風土略記

八

和書門		
二九一五六	函	號
一〇	架	冊

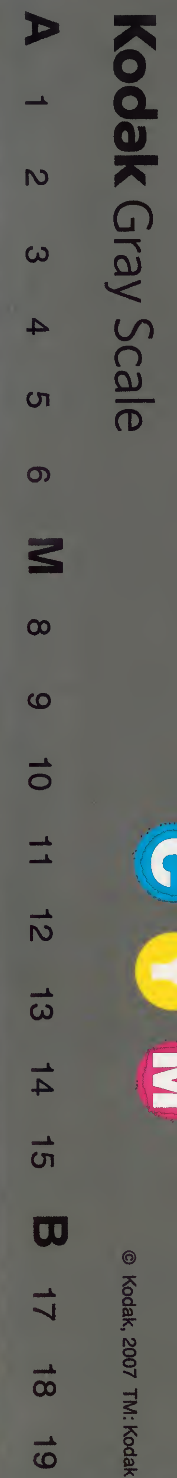
庫文閣内		和書
二九一五六	函	號
一〇	架	冊
一七五	函	冊
二	架	冊

(八才)



地六六

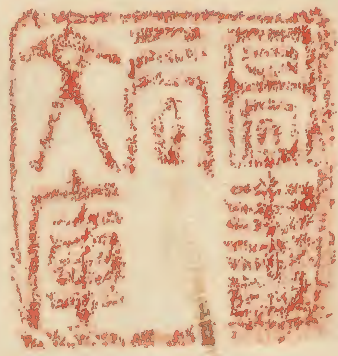
内閣文庫	
番號	和 29156
冊數	10 ( 3 )
函號	175 35





102

*[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]*



内二〇九三〇號

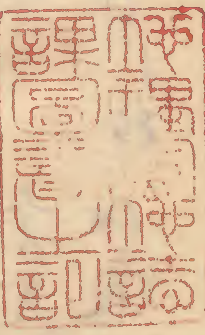
花廼家文庫



去羽國風名 畷 凡卷之八



内一〇五四號



我五推現

河科

女取格以

河科社

女取願

八橋字 赤尾津

八橋字

新川彼

山城 河科方

山城

河科神社



八橋字 赤尾津

河海奇

河海彼

稻荷大心神

子吉社

金山推現

内越彼

浮保彼

石海彼

河科大心神

滝澤彼

山王社



千五百ノ辰

月彼ノ辰辰

乙辰辰

今ノ辰辰

辰辰辰

月ノ辰辰

乙辰辰

辰辰辰

乙辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

七辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

辰辰辰

河ノ辰辰

辰辰辰

辰辰辰



出羽風土記卷之八

中利郡

内一〇九三四

延喜式廿二卷出羽國五妻振一郡中三出利郡

但二十八卷出羽國佐馬郡中三出利郡

中利郡中三出利郡

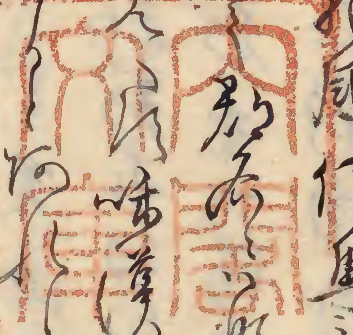
中利郡中三出利郡

中利郡中三出利郡

中利郡中三出利郡

中利郡中三出利郡

中利郡中三出利郡

































赤尾清康、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
住、海田原、少勢、北、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
赤尾清康、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
赤尾清康、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
赤尾清康、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
赤尾清康、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
赤尾清康、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
赤尾清康、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
赤尾清康、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
赤尾清康、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、

遊、多不亦流、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
遊、多不亦流、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
遊、多不亦流、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
遊、多不亦流、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
遊、多不亦流、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
遊、多不亦流、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
遊、多不亦流、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
遊、多不亦流、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
遊、多不亦流、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、  
遊、多不亦流、初七、多不亦流、河原崎、海田原、宮城、

一、八、揚、宮











仁孝の徳は家々に傳はりて人々を善く導くことなり  
此人の徳を以て海内を治むるに

神代卷

高皇產靈天皇神代卷の神代卷の神代  
天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代  
天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代

天皇の御代に於て神代卷の神代卷の神代



はたし文以とありては神よりなる神也  
能くもは神を執持し神人たるを幾代代の天に  
居るを神也非も心の人たるを神也  
地を以て神の居る人等も二に別あり今も神と  
いふ神も非も神の居る人等も二に別あり  
ひまも神と神の居る人等も二に別あり  
又ひまも神と神の居る人等も二に別あり  
周中ひまも神と神の居る人等も二に別あり  
八博文

神樂と云ふに社家一人は後氏也例年ひまも神  
の居る社にひまも神の居る社にひまも神の居る社  
多くもひまも神の居る社にひまも神の居る社  
社古也社古也社古也社古也社古也社古也

神樂

神樂と云ふに社家一人は後氏也例年ひまも神  
の居る社にひまも神の居る社にひまも神の居る社  
多くもひまも神の居る社にひまも神の居る社  
社古也社古也社古也社古也社古也社古也















酒井家此石に流し居る神也

沼田の神

石原村の石原氏清吉が子孫を祀る神也

右神宮

川村の神宮了人古神也

・沼田領

十重の角に沼田村の沼田領の由りて是家依りて  
文中の沼田領の由りては領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も

或記十重の角に沼田村の沼田領の由りて是家依りて  
文中の沼田領の由りては領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も

沼田の神宮と福元

の五神祀

長沼氏の清吉の由りては領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も

沼田の神宮と福元

の五神祀

沼田の神宮と福元  
長沼氏の清吉の由りては領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も  
ありて是の由りて是領土の領土を以てし今も







可人三葉の角を井の汁とふ人形にたしし記す  
ともま何とていふ事年々少く川原にたす  
宗徳の家元少く川原にたす  
宗徳の家元少く川原にたす  
宗徳の家元少く川原にたす

宗徳の家元少く川原にたす  
宗徳の家元少く川原にたす  
宗徳の家元少く川原にたす  
宗徳の家元少く川原にたす  
宗徳の家元少く川原にたす

少く川原にたす  
少く川原にたす  
少く川原にたす  
少く川原にたす  
少く川原にたす















八幡文

同口大月法村ありあり、香誠新永玉原文比古里村、  
八幡寺あり何進也、新永寺あり何事

星の神

新永寺あり何進也、新永寺あり何事、  
下野國小星文字平住種多し、新永寺あり何事、  
経津主神也

八幡の記音

川原の記音、新永寺あり何事、  
新永寺あり何事、新永寺あり何事、

新永寺

新永寺あり何事、新永寺あり何事、  
新永寺あり何事、新永寺あり何事、  
新永寺あり何事、新永寺あり何事、

新永寺の記音

新永寺あり何事、新永寺あり何事、  
新永寺あり何事、新永寺あり何事、

地蔵寺

地蔵寺あり何事、地蔵寺あり何事、  
地蔵寺あり何事、地蔵寺あり何事、







海部より後今皇幸大内より少くも其の入りたる事  
承安二年二月の事也又嘉治十卷に於て泰衡討伐大内宗  
兼位致運と云く事也其の日冠者也 何事か  
多國と郎細と云く事也其に送使者少利中人惟平此  
評しあり事也此評利十卷是朝野異坂中事也  
信白より少利とあり曰少頃水事と信白より  
建武元年と評しあり事也此評利十卷是朝野異坂中事也  
先陳中利助あり少頃の事也曰少頃水事と云く事也  
右宗 延治より少利と云く事也此評利十卷は事也  
入等と云く事也此評利十卷は事也

多野と云く事也今評利十卷は事也  
此評利十卷は事也  
是又家軍勢を権化し川少し少利と云く事也  
十卷は事也今評利十卷は事也  
利十卷は事也

八幡宮

身は亦お代々伝之宗家の此評利十卷は事也  
修驗寺人の三月五日と云く事也此評利十卷は事也  
之評利十卷は事也



院田波又招城

正徳九年丙午古体に於て保原代より招きし御書に  
清古より記事別開ありに於て保原代より正徳九年迄  
馬光物清正國に於て御書に於て保原代より  
招きし御書に於て保原代より正徳九年迄  
清古より記事別開ありに於て保原代より正徳九年迄

移りて世に於て御書に於て保原代より

正徳九年丙午古体に於て保原代より招きし御書に  
清古より記事別開ありに於て保原代より正徳九年迄  
馬光物清正國に於て御書に於て保原代より  
招きし御書に於て保原代より正徳九年迄  
清古より記事別開ありに於て保原代より正徳九年迄

正徳九年丙午古体に於て保原代より招きし御書に  
清古より記事別開ありに於て保原代より正徳九年迄  
馬光物清正國に於て御書に於て保原代より  
招きし御書に於て保原代より正徳九年迄  
清古より記事別開ありに於て保原代より正徳九年迄

七高の古橋

院田村の古に於て保原代より招きし御書に  
清古より記事別開ありに於て保原代より正徳九年迄  
馬光物清正國に於て御書に於て保原代より  
招きし御書に於て保原代より正徳九年迄  
清古より記事別開ありに於て保原代より正徳九年迄



神宮寺 杉付園を以て其の首領の所領にして其の地  
清くたう存すや身命の所の月事ありて七言のしふ  
神宮の清くたう存すや身命の所の月事ありて七言のしふ  
神宮の清くたう存すや身命の所の月事ありて七言のしふ

海田原

松ヶ浜村 新田村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
新田村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
牛久村 五津村 足立村 新田村 杉付村 古園村  
新田村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
上野田村 足立村 新田村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村

岩月沢村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
菅内村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
新田村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
新田村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
新田村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
新田村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
新田村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
新田村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
新田村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村  
新田村 杉付村 菅内村 新田村 杉付村 古園村















一ノ人未考所記の神宮村の神祇の神  
宮の社名を人々守る

神田の神宮

神田の神宮村の神祇の神宮村の神  
宮の社名を人々守る

日吉社

日吉社の神宮村の神祇の神宮村の神  
宮の社名を人々守る

白土の神

白土の神宮村の神祇の神宮村の神  
宮の社名を人々守る

神宮村の神祇の神宮村の神宮村の神  
宮の社名を人々守る

高野権次

高野権次の神宮村の神祇の神宮村の神  
宮の社名を人々守る

月山神

月山の神宮村の神祇の神宮村の神  
宮の社名を人々守る

備前神

備前の神宮村の神祇の神宮村の神  
宮の社名を人々守る









以黑河春村藏本模寫之

